
評価基準表

（3・4年上）

○評価基準表は、平成23年度用『小学社会』に基づき、原則として小(中)単元の小見出しの学習単位ごとに「十分満足できる子ども」「努力を要する子ども」の評価基準とそれぞれの「指導の手だて」を示しています。なお、評価規準については、弊社発行の『小学社会教師用指導書』および冊子『年間指導計画案』をご覧ください。年間指導計画案については、弊社ホームページにも掲載しております。

○学習指導要領の「内容の取扱い」で示されている選択事例を取り上げた「せんたく」、いわゆる発展的な学習を取り上げた「大きくジャンプ」について、本教科書において配当時間を設定しておらず、したがって、本資料には評価基準を掲載しておりません。（3・4年上 P.96～111「工場ではたらく人びとの仕事」をのぞく）ご了承ください。

『小学社会 3・4年上』評価基準(案)

1 わたしのたちの住んでいるところ

1 わたしたちのまちのようす

上巻導入は略

小単元の目標	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
<p>○自分たちの住んでいるまちの様子は、地形的な条件や社会的な条件によって違いがあることを理解できるようにする。</p> <p>○自分たちの住んでいるまちに関心をもち、それを意欲的に調べることを通して、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。</p> <p>○自分たちの住んでいるまちの特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などを、観察、調査したり、白地図にまとめたりして調べ、地域の様子は場所によって特色や違いがあることを具体的に考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。</p>	大単元の導入	◎自分たちの住んでいるところの様子を発表し合うなかで、まちの様子について関心をもち、本単元の学習の見通しをもつことができる。	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・4枚の絵を参考にして、自分たちの住んでいる地域の様子に関心をもち、まちの様子を進んで発表し、ほかの子どもの発言にも興味をもって話し合いに参加している。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの住んでいるまちの様子についての確に発表できた子どもには、友だちの発表する内容について補足をしたり、範囲を広げた場所の様子についても発表したりするように指導する。 	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・4枚の絵をもとにして、自分たちの地域についての話し合いに参加することにとまどいがある。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの住んでいるまちの様子について関心の低い子どもには、自分の通学路を想起させ、目印となるような場所をたずねるなどをきっかけとし、関心がもてるように個別に指導・支援したい。
	屋上に上がって	◎四方位を知り、屋上に上がって、それぞれの方位に見えるまちの様子を観察することができる。	<p><観察・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの方位に見える目だつ建物や知っている建物などをかきこみ、まちの様子を的確に表現できている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの方位に見えるまちの様子の特徴を的確に表現できている子どもには、生活経験を想起させながら、隠れて見えないところにある建物などをかき加えるように言葉がけをする。 	<p><観察・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの方位に見えるまちの様子をうまく表現できないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特徴的なまちの様子をうまく表現できない子どもには、それぞれの方位を確認したあと、それぞれの方位で中心に位置する目だつ建物をスケッチさせ、その建物を基準にして、その他の目だつ建物などをかきこむように個別に支援する。
<p>小単元の評価規準</p> <p>〔関心・意欲・態度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの住んでいるまちに関心をもち、それを意欲的に調べることを通して、それらの特色やよさを考えようとしている。 <p>〔思考・判断・表現〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの住んでいるまちについて学習問題や予想、学習計画を考え表現し、自分たちの住んでいるまちの特色を考え、調べたことや考えたことを適切に表現している。 <p>〔観察・技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの住んでいるまちを的確に観察・調査し、その結果を主な地図記号や四方位などを用いた簡単な絵地図や平面地図に分かりやすくまとめている。 <p>〔知識・理解〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの住んでいるまちの様子は、場所によって違いがあることをとらえている。 	友だちのスケッチとくらべると	◎スケッチをもとに、まちの様子を発表し合うなかで、まちを調べてみたいという意欲を高めることができる。	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北を上にしてかきおしたスケッチをもとに、まちの様子を話し合うなかで、まちを詳しく調べてみたいという意欲を高めている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっとまちの様子を詳しく知りたいという意欲が十分に高まっている子どもには、さらに知りたいと思ったことを具体的に記入して、次時の調べる計画を立てる際の視点づくりにつなげるようにする。 	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋上から見えたまちの様子のお話し合いから、さらに詳しく調べようという意欲がわいていない。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋上から見えたまちの様子のお発表から、まちの様子についての関心が高まっていない子どもには、まちの様子について質問し、「よく分からない。」という自覚を高めることで、次時への意欲につなげていくようにする。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	まちたんけんの計画を立てよう	◎まちの様子を詳しく調べるために、自分の調べたいことや調べる方法を明確にし、学習計画を立てることができる。	<思考・判断・表現> ・まちの様子に問題意識をもち、自分の調べたいことや調べる方法を明確に持っている。 <指導の手だて> ・自分の調べたいことや調べる方法を明確にもつことができた子どもには、探検カードに見てきたいことを記入させたり、インタビューの仕方も前もって練習させたりしたい。	<思考・判断・表現> ・調べてみたいことが見つけにくく、学習の見通しがもてずにとまどっている。 <指導の手だて> ・自分の調べたいことや調べる方法を明確にもつことができない子どもには、前時に「よく分からないな。」と思ったことから、自分が調べたいことを具体的に表現するようにし、調べる視点をはっきりさせていく。また、教科書P.9の探検の計画メモを参考にするように声かけをする。
	北コースのたんけん	◎北コースをグループで歩いて観察やインタビューをし、北コースの様子についてまとめることができる。	<観察・技能> ・まち探検に意欲をもって取り組み、観察やインタビューをもとに、各コースの様子を適切に記録している。 <指導の手だて> ・まち探検に意欲をもって取り組み、地形や土地の使われ方、交通の様子などを適切に記録できている子どもには、さらに詳しい記録を心がけたり、自分の知っているほかの場所と比べて違う点や似ている点を考えさせたりする。	<観察・技能> ・観察した事実や気づいたことが断片的で、場所による違いや特色がとらえられていない。 <指導の手だて> ・まちの様子を、うまく記録できない子どもには、同じグループの友だちが知っている内容を参考にしたり、地図のどの位置にいるのかを、白地図で確認をしたりしながら、自分なりの記録ができるように個別に指導・支援をする。
	西コースのたんけん	◎西コースをグループで歩いて観察やインタビューをし、西コースの様子についてまとめることができる。	<観察・技能> ・まち探検に意欲をもって取り組み、観察やインタビューをもとに、各コースの様子を適切に記録している。 <指導の手だて> ・まち探検に意欲をもって取り組み、地形や土地の使われ方、交通の様子などを適切に記録できている子どもには、さらに詳しい記録を心がけたり、自分の知っているほかの場所と比べての違う点や似ている点を考えさせたりする。	<観察・技能> ・観察した事実や気づいたことが断片的で、場所による違いや特色がとらえられていない。 <指導の手だて> ・まちの様子を、うまく記録できない子どもには、同じグループの友だちが知っている内容を参考にしたり、地図のどの位置にいるのかを白地図で確認をしたりしながら、自分なりの記録ができるように個別に指導・支援をする。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	南コースのたんけん	◎南コースをグループで歩いて観察やインタビューをし、南コースの様子についてまとめることができる。	<観察・技能> ・まち探検に意欲をもって取り組み、観察やインタビューをもとに、各コースの様子を適切に記録している。 <指導の手だて> ・まち探検に意欲をもって取り組み、地形や土地の使われ方、交通の様子などを適切に記録できている子どもには、さらに詳しい記録を心がけたり、自分の知っているほかの場所と比べての違いや似ている点を考えさせたりする。	<観察・技能> ・観察した事実や気づいたことが断片的で、場所による違いや特色がとらえられていない。 <指導の手だて> ・まちの様子を、うまく記録できない子どもには、同じグループの友だちが持っている内容を参考にしたり、地図のどの位置にいるのかを、白地図で確認をしたりしながら自分なりの記録ができるように個別に指導・支援をする。
	絵地図にあらわすと	◎絵や自分の決めた記号を使い、観察した結果を地図に表して友だちの地図と見比べることで、違いや疑問を見つけ、共通の記号の必要性について考えることができる。	<思考・判断・表現> ・絵地図を比較して見つけた違いや疑問から、共通の地図記号の必要性に気づいている。 <指導の手だて> ・それぞれの絵地図の違いや、共通の記号の必要性を考えることができた子どもには、だれが見ても分かりやすい地図にするために記号以外で何か統一すべきことがないのだろうかと投げかけ、調べてみるように助言する。	<思考・判断・表現> ・絵地図を比較して見つけた違いや疑問を見つけにくく、共通の地図記号の必要性に気づきにくい。 <指導の手だて> ・共通の記号の必要性に気づきにくい子どもには、それぞれが自由に記号をつかった地図は、見ていて分かりにくいことに気づくように、自分の書いた地図と友だちのつくった地図を比較させながら個別に指導・支援する。
	べんりな地図記号を使って	◎分かりやすい地図をつくるために必要な主な地図記号やその由来、地図のつくり方についてとらえることができる。	<知識・理解> ・調べたことをあらわした絵地図から、記号を使って、だれにでも分かるように工夫して新しい平面地図に表している。 <指導の手だて> ・地図記号を使って分かりやすい地図をつくることができた子どもには、ほかの地図記号についても調べるようにし、自分の地図に地図記号を増やしていくようにする。	<知識・理解> ・調べた過程や結果をまとめる絵や記号が統一されていないなど、作成した平面地図が分かりにくい。 <指導の手だて> ・分かりやすい地図をつくるために、どのような作業をすればよいのかとらえにくい子どもには、郵便局や病院、神社など、目印になる建物を、いくつか一緒に地図記号に直していく作業をしたり、地図記号の一覧を示して作業をしたりするなどして、自分でやっついこうとする意欲をもてるようにする。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	たしかめよう	◎これまでの学習を地図にまとめ、まちの様子について話し合うことにより、自分たちのまちの特色について自分の考えを深めることができる。	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> できあがったまち全体の地図を見て、自分たちのまちの特色について、自分の考えを明確に持っている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> まちには、場所によって違いがあることをとらえた子どもには、違いのあるわけを交通の様子や地形的な条件との関係から考えるように助言し、場所による違いをより深く理解できるようにする。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 絵地図をもとにして、地図記号を使った分かりやすい地図をつくるためにどのような作業をしたらいいかとまどっている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> まちには、場所によって違いがあることをとらえることができていない子どもには、完成した地図や探検カードを見ながら、まち探検での観察や見学を想起させるとともに、まちの特徴的な写真を提示し、これまで自分が見つけた事実を確認・整理させる。

2わたしたちの市のようす

小単元の目標	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
<p>○自分たちの住んでいる市（区、町、村）の様子は、地形的な条件や社会的な条件によって違いがあることを理解できるようにする。</p> <p>○自分たちの住んでいる市（区、町、村）の様子に関心をもち、それを意欲的に調べることを通して、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。</p> <p>○自分たちの住んでいる市（区、町、村）の様子の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などを、観察、調査したり、白地図にまとめたりして調べ、地域の様子は場所によって特色や違いがあることを具体的に考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。</p>	ぐるっと見わたしてみよう てんぼう台から見える福岡市のようす	◎自分たちのまち以外の市の様子で知っていることを話し合い、市内にはさまざまな施設や交通網があることに気づき、市全体の様子について関心を深めることができる。	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの住むまちと違った市の地域について、知っていることや経験したことを積極的に発言し、市全体の様子について、意欲的に調べようとしている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の様子に関心をもち、意欲的に調べようとする子どもには、どのあたりに、どんなものが多いのかを市を展望して考えるように助言する。また、発見メモで多くの問いを書くように助言し、子どもの問いをもとに学習問題を設定し、今後の学習にいかすように指導する。 	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの住むまちについては発言するが、違った地域については、発言ができない。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 市の様子に関心が低い子どもには、市内のさまざまな場所の写真を用意し、その写真を示しながら、知っていることや行ったことがある経験を引き出し、関心がもてるようにする。市を展望する際には、「あそこには何があるのだろう。」「あそこに行ったことがある。」と場所を示しながら、個別に支援する。
<p>小単元の評価規準</p> <p>〔関心・意欲・態度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの住んでいる市（区、町、村）の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などに関心をもち、それを意欲的に調べることを通して、それらの特色やよさを考えようとしている。 <p>〔思考・判断・表現〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの住んでいる市（区、町、村）の様子について学習問題や予想、学習計画を考え表現し、自分たちの住んでいる市（区、町、村）の様子は場所によって違いがあることを考え、調べたことや考えたことを適切に表現している。 <p>〔観察・技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの住んでいる市（区、町、村）の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などを具体的に観察したり、資料を活用したりして調べた過程や結果を、表現物にまとめたり、話し合いをしたりしている。 <p>〔知識・理解〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの住んでいる市（区、町、村）は、場所によって違いがあることをとらえている。 	調べる場所や調べ方を決めよう	◎市全体の写真や地図を見て、市のいろいろな場所には違いがあることに気づき、調べたいことや調べる方法を明確にして、学習の見通しをもつことができる。	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 市全体の写真や地図を見て、地形の特色や場所による土地利用の違いなどから調べることや調べる方法を考えている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 地形の特色や場所による土地利用の違いを理解し、福岡市の様子を意欲的に調べようとする子どもには、教科書P.36以降にある「学び方・調べ方コーナー」を参考に、積極的な資料収集ができるように助言する。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 市全体の地図を見ても、地形や土地利用の違い、個々の場所の特色などをつかめず、調べることや調べる方法の見通しがもてないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 地形の特色や場所による土地利用の違いが理解できない子どもには、「山が多いところ」「田や畑が多いところ」などの土地の使われ方を示した白地図を提示し、色鉛筆で色を塗ることで、特色が理解できるように個別に支援する。
	田や畑が多いところ	◎田や畑が多いところと、自分たちのまちの様子との違いを表にまとめることから、地形の特色と人々のくらしとのかかわりをつかむことができる。	<p><観察・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 電話でのインタビューを十分な見通しをもちながらおこない、調べた事実を写真などを活用しながら、違いを分かるように表にまとめている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 田や畑がつくられる場所と地形とのかかわりが理解できた子どもには、さらに具体的な農作物の種類を調べて、白地図にかきこむことや、作られる農作物と土地との具体的な関係を詳しく調べることを促す。 	<p><観察・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 電話でのインタビュー活動や表にどのようにして、まとめればよいかがかかめないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 田や畑がつくられる場所と地形とのかかわりが理解できない子どもには、インタビュー内容をまとめた文書資料を準備し、農作物を作る人の苦勞の具体的な内容を、地形や天候とのかかわりから気づけるように提示する。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	工場が集まっているところ	◎工場が集まっているところを調べ、特色ある地形や交通などの様子とかかわりがあることを考えることができる。	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 工場が集まっているところと、地形と交通の様子とを関連づけて考えている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 資料や写真などから、工場が集まる場所の特色について関連づけて考えられる子どもには、自分が調べて分かった事実以外に、ほかの子どもたちの資料や意見なども取り入れてまとめるように助言する。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 工場が集まっているところと、地形や交通の様子とを関連づけて考えることができない。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 資料や写真などから、工場が集まる場所の特色について関連づけて考えることができない子どもには、パン工場など具体的な例で示しながら、原料の運搬、包装などの関連工場との関係、つくった製品の輸送などの、工程のなかで考えさせるように指導・支援する。
	人がたくさん集まる場所	◎人がたくさん集まる場所の写真や地図、家族で買い物に行った経験をもとに、人がたくさん集まる場所は、土地利用や交通とかかわりがあることをノートにまとめることができる。	<p><観察・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 観察や聞き取り調査などを十分な見通しをもちながらおこない、ノートや表にまとめている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 観察や聞き取り調査を意欲的にしている子どもには、観光、買い物、通勤、通学など、利用する人の目的に合わせて、どのような施設があるのかや、身体障害者や高齢者、外国人など、だれにとっても使いやすい工夫などを調べさせ、公共施設の役割について考えさせていきたい。 	<p><観察・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 観察や聞き取り調査には関心をもっているが、どのように調べればよいかがかかぬ。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> どこをどのように観察したらよいか分からない子どもには、バスの路線図や案内板を見て気づいたことについてメモさせたり、「駅のまわりには何種類の建物があるか調べてみよう。」「駅からどんな乗り物に乗ることができるのだろう。」など、具体的な問いかけをおこない、個別に支援する。
	博多駅やそのまわりのようす	◎写真や家の人の話をもとに、駅やその周辺の施設などを利用する人と交通とのつながりについて考えることができる。	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 駅や周辺の施設などを利用する人と、交通のつながりを関連づけて考えている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 観察や聞き取りが積極的にできた子どもには、博多駅を利用する人の目的や行き先別に何が多いかを調査し、それぞれ表などに整理するようにさせ、博多駅周辺の施設や店などとのつながりにも目が向くようにさせていきたい。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 駅や周辺の施設などを利用する人と、交通のつながりを関連づけて考えることができない。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 写真の観察や家の人からの聞き取りが十分にできない子どもは、積極的に調査活動ができる子どもと一緒に活動させ、分かったことをメモさせたり、発表に臨ませるようにする。聞き取りができない子どもには、無理にさせようとせず、ほかの子どもが聞き取りしたことをメモさせるなどして個別に指導したい。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	古くからのこるたてもの	◎ガイドマップや資料などをもとに、建物の位置やいわれなどを調べるができる。	<観察・技能> ・ガイドマップなどの資料を積極的に活用し、調べたことを的確にメモしている。 <指導の手だて> ・観察などの追究活動が積極的にできた子どもには、ほかの都市との違いに目を向けさせたい。また、国や県・市に指定されている史跡や伝統行事・祭りなど、テーマを決めて調べるように助言する。	<観察・技能> ・資料の収集・活用活動には関心をもっているが、どのように調べればよいかつかめないでいる。 <指導の手だて> ・ガイドマップの見方が分からない子どもや調べたことのまとめ方が分からない子どもには、位置を白地図に転記させてたしかめさせたり、各建物の歴史を「いつ建立されたか。」「何の目的で建立されたか。」「どのように使われてきた建物か。」などの視点を与えて、ノートやワークシートに整理したりできるように支援したい。
	みんながりようするしせつ	◎市役所の資料や家の人の話をもとに、公共施設の位置や働きについて調べることができる。	<観察・技能> ・観察や聞き取り調査、資料収集などを積極的におこない、調べたことを的確にメモしている。 <指導の手だて> ・公共施設の位置や働きについて理解できた子どもには、教科書P.47にあるほかの施設のなかから、自分が興味をもった施設について調べたり、家族でよく利用する施設を三世代別で整理したりして、施設の特徴や利用目的がつかめるように意欲をもって調べることができるように助言したい。	<観察・技能> ・観察や聞き取り調査、資料収集などには関心をもっているが、どのように調べればよいかつかめないでいる。 <指導の手だて> ・公共施設の位置や働きについて理解できない子どもには、遠足などで行った場所を想起させて考えられるようにする。家庭の事情から家庭ではあまり公共施設を利用していないことも考えられるので、聞き取り調査の時に、十分に配慮する。
	たしかめよう	◎これまでに調べたことをガイドマップにまとめ、話し合うことにより、自分の考えを深めることができる。	<思考・判断・表現> ・これまで調べたことをもとに、市の様子をガイドブックにまとめ、福岡市の場所による違いについて、自分の考えを明確にもっている。 <指導の手だて> ・市の様子は場所によって利用の仕方が異なることを十分とらえている子どもには、まち探検のときのように、違いの理由を交通条件や地形条件の関係から考えるように助言し、場所による違いをより深く理解したり、友だちに説明したりできるようにする。	<思考・判断・表現> ・これまでに学習してきたことを、ガイドブックにまとめることに、とまどいをもっている。 <指導の手だて> ・市の様子は場所によって利用の仕方が異なることをとらえることができていない子どもには、教科書P.48にあるような写真などで調べ学習を想起させ、地図と対応させながら位置や交通とのつながりについて確認・整理するように支援する。

2 暮らしをささえるまちではたらく人びと

1 店ではたらく人びとの仕事

小単元の目標	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
<p>○地域の人の販売にかかわる仕事は、自分たちの生活を支えていること、また販売に携わっている人々の工夫や他地域とかかわりがあることを理解できるようにする。</p> <p>○地域の人々の販売の仕事の様子や販売の工夫について関心をもち、それらを意欲的に調べることを通して、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。</p> <p>○地域の人々の販売の仕事の様子や販売の工夫などを、観察、調査したり、白地図にまとめたりして調べ、それぞれの仕事の特色に応じて、他地域などのかかわりももちながら、さまざまな工夫をしていることを具体的に考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。</p>	大単元の導入	◎いちごや明太子の生産や販売に携わる人々の写真から、働く人々の仕事について関心をもち、本単元の学習の見通しをもつ。	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5枚の写真から、わたしたちの暮らしを支える地域の人の生産や販売にかかわる仕事に関心をもち、学習の見通しをもっている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・すでに、いちごや明太子の生産や販売に携わる人々に関心をもっていると思われる子どもには、わたしたちの暮らしをささえるほかの品物についても考えるよう助言する。 	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5枚の写真が何の写真かは分かるが、生産や販売に携わる人々のイメージをもつことができない。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産や販売に携わる人のイメージをもつことが難しい子どもには、まず、いちご作りの仕事をしている写真を指し、ほかにも食卓にのぼる品物について考えさせ、その一つ一つが働く人によってつくられていることをおさえる。また、同様に、さまざまな品物を販売する人が存在することにも気づかせたい。
	よく行く店はどこ	◎自分の家の人が、どんな店で何を買っているのか話し合い、買い物調べに意欲をもつことができる。	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家の人への聞き取りを積極的におこなない、意欲的に調べようとしている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に買い物調べをしている子どもには、「話を聞いたこと」の欄に、できるだけくわしく記入するように指導するとよい。また、同じ品物を、違う店で買っていることなどにも着目させ、家の人への買い物の工夫について前もって考えさせるようにしたい。 	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家の人への聞き取り活動に関心をもっているが、どのように調べればよいのかつかめないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家の人でどこで買い物をしているのかわからない子どもや、買い物調べについて意欲がもてない子どもについては、教科書P.55の例を見せながら、調べてくることを具体的に示してやるとよい。また、事前に学習の目的と「買い物調べ」をすることを家庭に知らせ、協力をお願いしておく。
<p>小単元の評価規準</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の販売の様子に関心をもち、見学や調査活動を通して意欲的に調べることを通して、地域の人々の販売の仕事と自分たちのかかわりについて考えようとしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の販売の仕事について学習問題や予想、学習計画を考え表現し、地域の販売の仕事に携わっている人々の工夫について考え、考えたことを適切に表現している。 <p>【観察・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の販売にみられる仕事の特色や国内外の他地域などのかかわりを見学、調査して具体的に調べるとともに、調べた過程や結果をノートや作品にまとめている。 <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の販売の仕事に携わっている人々の工夫や他地域とのかかわりをとらえている。 	買い物調べのけっかをまとめると	◎自分の家の人の買い物の仕方について調べたことを、地図やグラフにまとめることができる。	<p><観察・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「買い物調べ」をもとに、積極的にグループ(クラス)で買い物地図にかきいれたり、分かりやすい表やグラフにあらわしたりしている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物地図や棒グラフを工夫して表現できている子どもには、地図上には表せていない店(移動販売や通信販売など)についても、地図の空いている場所や枠外にかかせるようにしたい。そうすることで全体ができあがったときに、まちにある店の様子や家の人への買い物をしている店についてつかめるようになる。 	<p><観察・技能・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べた「買い物調べ」を次にどういかにしたらよいのか思いつけず、とまどっている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物地図や棒グラフをうまく表現できない子どもには、大きな目印になる公共の施設や店をあらかじめ示し、それらをもとにして自分が調べてきた店の位置を考えるようにしていきたい。また、まち探検をしたときの地図を参考にさせながら作業していくとよい。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	スーパーマーケットの中のような	◎イラストからスーパーマーケットの店の様子や働く人の仕事を読み取り、働く人の仕事について気づくことができる。	<p><観察・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書P.58～59の「スーパーマーケットの中のような」から、商品の売り方や店で働く人の仕事の様子を見つけている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> スーパーマーケットの工夫や働いている人々の仕事について考えている子どもには、見ることでできない場所にいる人々の工夫に目を向けさせたい。例えば、調理する人はすべて帽子をかぶって白い服を着ている。これは、衛生に気をつけている店の工夫であることに子どもの考えがおよぶように支援したい。 	<p><観察・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書P.58～59の「スーパーマーケットの中のような」から、商品の売り方や店で働く人の仕事の様子を見つけられずにいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> スーパーマーケットの工夫や働いている人々の仕事について気づきにくい子どもには、店の工夫が比較的分かりやすい部分を例示し、助言していきたい。例えば、「大きな表示板は何のためにあるのかな。」と問いかけることで店の工夫に気づかせていきたい。
	予想したことを見学でたしかめよう	◎スーパーマーケットで買い物をする人が多い理由について予想し、見学の計画を立てることができる。	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> スーパーマーケットで買い物をする人が多い理由について予想し、見学の計画を立てている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> スーパーマーケットで買い物をする人が多い理由について自分の考えがもっている子どもには、スーパーマーケットのよさについてできるだけたくさん見つけるようにさせる。また、この見つけたよさを見学の視点へとつなげるようにしていきたい。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> スーパーマーケットで買い物をする人が多い理由について自分の考えがもちにくく、見学の計画を立てることができずにいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> スーパーマーケットで買い物をする人が多い理由について自分の考えがもちにくい子どもには、家の人がスーパーマーケットに行く理由を、前もって調べるように助言しておくことよい。「家の人は…と行ってました。」と発表させる形にさせる。
	店の中のような	◎スーパーマーケットの中の様子を見学し、お客さんが買い物をしやすいように、店が工夫していることについて考えることができる。	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 見学のめあてに従って、店の施設などを積極的に調べ、スーパーマーケットのさまざまな工夫について考えている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 目に見える「表示」「値札」「品揃え」などについて気づき、その工夫の理由まで理解できている子どもには、表からは見ることができない扉の奥で働いている人の仕事についても考えるように助言する。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 見学のめあてに従って、店の施設などを積極的に調べているが、調べたことがスーパーマーケット側の工夫であることに考えがいたらないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 見学をして、店の工夫やお客さんにとって便利なところに気づいていない子どもには、具体的に「どうして、あんな高いところに表示しているのかな。」「値札がこんなに大きいのは、どうしてかな。」「どうして同じ品物なのにこんなにたくさんの種類があるのかな。」など声かけをして考えるように助言していく。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	はたらく人にインタビュー	◎インタビューすることにより、たくさんのお客さんに来てもらうための店の工夫や努力について考えることができる。	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学のめあてに従って、働く人の仕事などを積極的に調べ、スーパーマーケットのさまざまな工夫や働く人の努力について考えている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客さんに来てもらうための店の工夫や努力をとらえることができている子どもには、同じ仕事でも、AさんならAさんの、BさんならBさんの工夫があると考えられるので、インタビューをする際も「〇〇売りのAさんは、自分なりにこんな工夫をしていた。」という観点で、働く人一人一人の工夫をインタビューできるように助言する。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学でいろいろな要素に目がいき、店の施設の工夫や働く人の工夫・努力、客にとって便利などころをしばらくこむことができずにいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客さんに来てもらうための店の工夫や努力をとらえられない子どもには、しっかりとインタビューができていない可能性が考えられる。インタビューが苦手な子どもに対しては、事前にインタビューの仕方など繰り返し練習することで、自信をもって活動できるようにしていきたい。
	店長さんに話を聞くと	◎店長さんに聞いた話をもとに、お客さんの願いにこたえたり、リサイクルやお年寄りのための取り組みをしたりするなど、店の工夫を考えることができる。	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューを通して、スーパーマーケットで働く人たちの工夫と努力が、消費者の願いと結びついていることを十分に考えている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・店がおこなっているさまざまな取り組みについて理解できている子どもには、取り上げている店以外でも、リサイクルや福祉に関してどのような活動をおこなっているか、調べるように助言するとよい。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・店の人たちが、消費者の願いに合わせて、工夫や努力をしていることに気づいていない。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・店長さんの話から、店がおこなっているさまざまな取り組みについて理解できない子どもには、「お客さんのことを考えた取り組み」「ごみを減らす取り組み」「お年寄りや体の不自由な人への取り組み」と項目を分け、整理して指導する。
	お客さんにアンケート	◎お客さんへのアンケートをもとに、お客さんが、どのような店づくりを望んでいるかを考えることができる。	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートをおこなうことを通して、スーパーマーケットで働く人たちの工夫と努力が、消費者の願いと結びついていることを十分に考えている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客さんの店に対する希望や店働く人の工夫・努力とが結びついていることを理解できた子どもには、アンケート調査の結果や店側の工夫や努力を自分なりに作品としてまとめるように助言する。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・店の人たちが、消費者の願いに合わせて、工夫や努力をしていることに気づいていない。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客さんの店に対する希望や店働く人の工夫・努力とが結びついていることを理解できない子どもには、アンケート調査の結果を整理し、理解できるように個別に支援・指導する。また、アンケート調査の段階で、一人では活動できにくい子どもには、ペアやグループにして活動させるとよい。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	品物はどこから	◎店に並んでいる野菜や果物などの品物の仕入れ先を調べることで、店が国内の他地域や外国とも結びついていることをとらえることができる。	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・店に並んでいる野菜や果物などのそれぞれの品物が、国内の他地域や外国と結びついていることを十分にとらえている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・店が国内の他地域や外国とも結びついていることを理解できた子どもには、クラスで取り上げたスーパーマーケット以外の店に出かけ、さらに詳しい地図をつくるように支援する。また、野菜や果物以外の魚や肉などの食料品まで広げて調べるように助言する。 	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内の他地域や外国とかかわりをもっていることを明確にとらえることができていない。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・店が国内の他地域や外国とも結びついていることを理解できない子どもには、表示板や段ボール箱のどこを見ればよいのか、具体的に説明しておく。また、見やすい地図を準備して、見つけた産地と場所がすぐに確認できるようにしておく。
	いろいろな店をくらべてみると	◎スーパーマーケットの学習をもとにして、ほかの店の特徴を調べ、買い物する際の店選びのたいせつさについて考えることができる。	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットの学習をもとにして、他の店の特徴を調べ、買い物をする際の店の選択のたいせつさを考えることができる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな店に関心を持ち、店の販売の特徴や店選びのたいせつさについて考えることができた子どもには、自分の地域に留まらず、地域にはないような大型スーパーや百貨店など、多くの人が集まるような店を調べ、考えるように助言する。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケット以外の店の販売の特徴や取り組みについて、関心がなく調べ、考えることができない。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな店に関心を持ち、店の販売の特徴や店選びのたいせつさについて考えることができない子どもには、教師から比較的調べやすい店をいくつか提示し、調べ、考えるように個別に支援・指導するようにしたい。
	たしかめよう	◎スーパーマーケットについて調べたことをまとめ、上手な買い物の仕方について考え、話し合うことができる。	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに調べたり、話し合ったりしたことをもとに、スーパーマーケットのよさをまとめて、ポスターをつくり、それをもとに、どうすれば上手な買い物ができるのか、自分の考えを明確にもつことができる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットの工夫について意欲的にまとめ、これからの自分の買い物の仕方の工夫を、これまで学習してきた店の工夫とつなげて考えることができている子どもには、スーパーマーケット以外の店についても、それぞれの特徴が分かるようにまとめることを助言する。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットのよさを、ポスターにまとめ、自分の買い物の仕方について考えることができずにいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の買い物の仕方について考えることができない子どもには、これまで学習してきたスーパーマーケットで働く人の工夫や努力について振り返らせ、買い物をしたくなる店の工夫はどんなことかを具体的に考えるように個別に支援・指導するようにしたい。

2畑ではたらく人びとの仕事

小単元の目標	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
<p>○地域の生産にかかわる人々の仕事は、自分たちの生活を支えていること、また農家の人々の工夫や他地域とかかわりがあることを理解できるようにする。</p> <p>○地域の生産にかかわる人々の仕事について、関心をもち、それらを意欲的に調べることを通して、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。</p> <p>○地域の生産にかかわる人々の仕事の様子や生産の工夫などを、観察、調査したり、白地図にまとめたりして調べ、それぞれの仕事の特色に応じて、他地域などのかかわりももちながら、さまざまな工夫をしていることを具体的に考える力や調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。</p>	<p>身近なところで作られる野菜やくだもの</p>	<p>◎自分たちのまちで作られている農作物について話し合い、いちごに対する興味・関心を高め、進んで調べようとする意欲をもつことができる。</p>	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの市で作られている野菜やくだものについて話し合い、作られている場所や作り方に問題意識をもち、調べる意欲を高めている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> いちごについて興味・関心をもち、意欲的に調べようとする子どもについては、予想をもちながらさらに、内容を深められるように、具体的な内容を挙げて助言したい。 	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの市で作られている農作物について関心が低く、問題がもてないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> いちごについて調べようとする意欲が低い子どもには、いちごが実際に作られている場面の写真を見せ、「このいちごが作られているのはどこだと思えますか。」と問いかけたり、あまおうとそのほかのいちごの形や大きさ、色や味を比べたりすることを通して、いちごのイメージをふくらませ、いちごについてもっと知りたいという思いを引き出すように指導・支援する。
<p>小単元の評価規準</p> <p>〔関心・意欲・態度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の人々の生産の様子に関心をもち、見学や調査活動によって意欲的に調べることを通して、地域の生産の仕事と自分たちとのかかわりについて考えようとしている。 <p>〔思考・判断・表現〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の人々の生産の仕事について学習問題や予想、学習計画を考え表現し、地域の生産の仕事に携わっている人々の工夫について考え、考えたことを適切に表現している。 <p>〔観察・技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の人々の生産の様子や国内の他地域などのかかわりを見学、調査するとともに、調べた過程や結果をノートや作品にまとめている。 <p>〔知識・理解〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の生産の仕事に携わっている人々の工夫や他地域とのかかわりをとらえている。 	<p>わたしたちの市でつくられるいちご</p>	<p>◎いちご作りについて話し合い、いちごの作り方や働く人の工夫などについて疑問をもち、それらを調べる計画を立てることができる。</p>	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> わたしたちの市で作られているいちごの作り方や働く人々の工夫などに関心をもち、それを調べる計画を立てている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> いちごは、「どこで、どのように作られるのか。」「どんな工夫をしているのか。」など、生産についての疑問は、容易に出てくると考えられるが、「どこに運ばれるのか。」という流通に関する問いは生まれにくい。満足できる話し合いができていない子どもには、このことにも気づかせるようにしたい。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> いちごについて、どのように生産されているかなど、何を調べればよいのかははっきりしていない。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 何を調べればよいかについての具体的なイメージがもてないため、話し合いができないでいる子どもやグループには、博多あまおうのプロモーションビデオを見せたい。そのうえで、いちご作りに関する具体的な質問をなげかけ、疑問や調べたいと思う内容を引き出したい。
	<p>いちご作りの1年</p>	<p>◎資料からいちご作りの1年を読み取るとともに、疑問に思ったことを話し合うことを通して、見学のときに調べたことを整理することができる。</p>	<p><観察・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書P.82～83の「いちごの農事ごよみ」から、いちご作りの1年を読み取るとともに、疑問についても話し合い、見学の視点をしっかりともっている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 「ミツバチを入れるのはなぜか。」や「苗を冷やすのはなぜか。」という疑問をもった子どもについては、自分なりの予想を立てさせるようにしたい。また、もっと調べてみたいことについてもノートにまとめるように助言する。 	<p><観察・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 情報が多すぎて、農事ごよみの読み取りに困難を感じている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 農事ごよみの読み取りに困難を感じる子どもは、情報量の多さととまどっている場合が多い。そこで、作業工程が一番少ないものを指し示し、「作業はどの順番で進められるのか。」「それは「いつごろおこなわれるのか。」と問いかけながら、具体的に読み取り方を指導する。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	徳安さんのいちご作り かんさつやインタビューをしよう	◎自分のめあてをもち、いちご畑を観察したり、徳安さんの話を聞いたりすることを通して、いちご作りの様子をつかむことができる。	<観察・技能> ・いちご作りの様子や農家の人の働く様子を積極的に観察・聞き取り調査をして、いちご作りの様子をつかんでいる。 <指導の手だて> ・見学での子どもをつぶやきや、まとめた作品などから、十分満足できると判断した子どもには、調べて分かった事実から考えられることや、もっと調べてみたいことについて書いてみるよう助言する。	<観察・技能> ・見学の際、メモが断片的で、まとめる際に十分な情報が得られないため、とまどっている。 <指導の手だて> ・意欲をもって見学できない子どもは、自分が調べたいことをどんな方法で調べればよいのかが分かっていない場合が多い。調べる方法を教えたり、的確に調べている子どもの様子を話したりすることで、具体的な方法を考えられるように支援する。
	なえを植えるまでの仕事のくふう	◎いちご農家を見学し、見つけたことや考えたことについて話し合うことを通して、苗作りにあたっての農家の工夫や努力について考え、適切に表現することができる。	<思考・判断・表現> ・農家の苗作りなどの農家の工夫や知恵について、自分の考えを明確にしている。 <指導の手だて> ・農家の人々の工夫や知恵について考えている子どもには、農家の人々のいちご作りに対する気もちについても考えさせたい。自分が気づいたことに加え、友だちの発表を聞くことで新しい思考に結びつけていくよう助言する。	<思考・判断・表現> ・苗作りの過程などの農家の工夫や知恵を明確にとらえないでいる。 <指導の手だて> ・農家の人たちの工夫や努力について気づきにくい子どもには、「どうして、葉かぎをするのですか。」や「なぜ、苗を冷やすのですか。」という具体的な質問を出しながら、その背後に隠れている農家の工夫や知恵に気づかせていくように支援する。
	夜の時間が長い時期に実をつけるくふう	◎夜に電灯をつける理由やビニールハウスを使う理由について話し合い、冬にいちごを作るための工夫や努力について考え、適切に表現することができる。	<思考・判断・表現> ・夜に電灯をつけるなどの、農家の工夫や知恵について、自分の考えを明確にしている。 <指導の手だて> ・農家の人々の工夫や知恵について考えている子どもには、「あまおう」という名前をつけた農家の人々の気もちについても考えるよう助言する。	<思考・判断・表現> ・冬獲りいちごなどの農家の工夫や努力を明確につかめないでいる。 <指導の手だて> ・農家の人たちの工夫や努力について気づきにくい子どもには、「何のために電灯をつけるのですか?」や「ビニールハウスを暖めるのはなぜですか?」という具体的な質問を出しながら、旬ではない時期にいちごを収穫する農家の工夫や知恵に気づかせるように支援する。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	いちごのたびを調べよう	◎中央卸売市場の様子をビデオや写真などで見て話し合い、自分たちのまちで作られたいちごは、国内の他地域に送られており、いちごを通した他地域との結びつきをとらえることができる。	<知識・理解> <ul style="list-style-type: none"> いちごが集荷場へ運ばれ、そこから、市内だけでなく、京都や滋賀、沖縄などの他都市へも運ばれ、家庭の食卓にのぼることを具体的にとらえている。 <指導の手だて> <ul style="list-style-type: none"> 発表やノートなどから十分満足できると判断した子どもには、分かったことをまとめるだけでなく、自然条件や働く人の工夫や努力あるいは悩みなどの事実を関連づけてまとめるように支援したい。 	<知識・理解> <ul style="list-style-type: none"> いちごの生産地から家庭までの流れがはっきりつかめず、また他地域に運ばれていることにも気づかずにいる。 <指導の手だて> <ul style="list-style-type: none"> 他地域との結びつきをとらえられない子どもには、日本全国の白地図を用意し、まず、福岡県に色をぬらせ、教科書に示してある京都府や滋賀県、沖縄県などに向けた矢印をかかせるなど、視覚的に訴える方法を活用したい。
	たしかめよう	◎今まで学習してきたことを手紙に書き、話し合うことにより、ものを作る人々の仕事とわたしたちの暮らしについての自分の考えを深めることができる。	<思考・判断・表現> <ul style="list-style-type: none"> これまでに学習したことをもとに、お世話になった方に手紙を書き、物をつくる人々と、わたしたちの暮らしについて話し合い、自分の考えを深めている。 <指導の手だて> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや思いを手紙に表すことができた子どもには、パンフレットや新聞など異なる表現方法で学習のたしかめをするよう助言したい。 	<思考・判断・表現> <ul style="list-style-type: none"> 手紙に書く内容を探すことができず、書き方についても自信がもてずにいる。 <指導の手だて> <ul style="list-style-type: none"> 手紙に書く内容を探すことができない子どもには、見学メモなど、自身の表現物から適切な内容を選び、それについて書くように促すとよい。また、手紙の書き方につまずく子どもがいると予想した場合は、事前に、いくつかの例のなかから選択したり、空欄を埋めたりするなど、手紙ができあがる文例集を準備しておくとうい。

せんたく 工場ではたらく人びとの仕事

小単元の目標	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
<p>○地域の工業生産にかかわる人々の仕事は、自分たちの生活を支えていること、また工場の人々の工夫や他地域とかわりがあることを理解できるようにする。</p> <p>○地域の工業生産にかかわる人々の仕事について、関心をもち、それらを意欲的に調べることを通して、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。</p> <p>○地域の工業生産にかかわる人々の仕事の様子や仕事のさまざまな工夫などを、観察・調査したり、白地図にまとめたりして調べ、それぞれの仕事の特徴に応じて、他地域などのかかわりももちながら、さまざまな工夫をしていることを具体的に考える力や調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。</p>	<p>博多の名物，明太子</p>	<p>◎福岡市の工場ではどんなものがつくられているのかを話し合い、明太子工場の見学の計画を立てることができる。</p>	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 博多の名物の明太子がどのようにつくられているのかに関心をもち、工場見学の計画を立てることができる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 見学の計画が十分にできている子どもには、グループでつくった見学の計画以外にも、もっと見て調べてみたいことやインタビューして調べてみたいことを出させて、それも追究してよいことを知らせる。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 明太子は知っているが、工場でのようにつくられているのかについては、関心がうすく、見学の計画を十分に立てることができないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 見学の計画が十分にできない子どもには、子どもの身のまわりにある「工場で作られたもの」の実物をいくつか見せて、それがどのようにつくられているのか、機械の面や人の働きの面などの視点で一緒に考えていく。そして、その視点を「明太子はどのようにつくられているのか。」という予想にあてはめて計画を立てることで、追究したいという意欲をもたせる。
<p>小単元の評価規準</p>	<p>工場を見学しよう</p>	<p>◎明太子工場を見学し、明太子づくりには、どんな仕事があるのか計画にそって意欲的に調べることができる。</p>	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> 明太子の原料や働く人について関心を高め、意欲的に調べている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 明太子づくりの仕事を意欲的に調べている子どもには、はじめの見学の計画以外にも、もっと見て調べてみたいことやインタビューして調べてみたいことについてさらに追究してよいことを知らせる。 	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> 明太子の原料や働く人について関心をもてないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 明太子づくりの仕事に関心の低い子どもには、工場見学の計画をもう一度振り返らせ、見て調べることや、インタビューして調べることに分けて一つずつ調べていくとよいことを知らせる。また、機械にばかり目を向けずに、人の動きや表情（真剣さ）などもメモに書き留めておくことよいことを知らせる。
<p>〔関心・意欲・態度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の人々の工業生産の様子に関心をもち、見学や調査活動を通して意欲的に調べることを通して、地域の工業生産の仕事と自分たちとのかかわりについて考えようとしている。 <p>〔思考・判断・表現〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の人々の工業生産の仕事について学習問題や予想、学習計画を考え表現し、地域の工業生産の仕事に携わっている人々の工夫について考え、調べたことや考えたことを適切に表現している。 <p>〔観察・技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の人々の工業生産の様子や国内の他地域などのかかわりを地図を活用したり、見学、調査したりするとともに、調べた過程や結果をノートや作品にまとめている。 <p>〔知識・理解〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の工業生産の仕事に携わっている人々の工夫や他地域とのかかわりをとらえている。 	<p>明太子ができるまで</p>	<p>◎見学やインタビュー、パンフレットをもとに、明太子ができるまでの工程を、順序よくまとめることができる。</p>	<p><観察・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書P.100～101の「明太子ができるまで」を見て、明太子ができるまでの工程やどんな仕事があるのか読み取っている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 明太子工場の工夫や働いている人々の仕事に十分気づいている子どもには、「明太子ができるまで」のイラストにはのっていない場面、例えば、水揚げするときや運ぶときなども含めて、さまざまな働く人の工夫を想起させ、細かいところの工夫を考えさせたり、発表させたりするようにする。 	<p><観察・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書P.100～101の「明太子ができるまで」を見て、明太子ができるまでの工程やどんな仕事があるのか読み取れないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 明太子工場の工夫や働いている人々の仕事に気づきにくい子どもには、工場の工夫が比較的分かりやすい場面、例えば原料を選ぶときに、「自分だったら、どんなふうを選んでいくかな。」と発問し、働く人の工夫に気づかせ、考えさせるようにする。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	明太子をつくる人たちの仕事	◎工場働く人たちがさまざまな努力や工夫をしながら明太子をつくっていることを、見学カードをもとに話し合い、考えを深めることができる。	<思考・判断・表現> ・安全でおいしい明太子をつくるための工夫や努力を、品質や安全の視点から考えている。 <指導の手だて> ・工場働く人の工夫を見学メモをもとに品質や安全の視点から考えることが十分にできている子どもには、前時に作成した「明太子ができるまで」のイラストにさらに書きこみをさせ、さまざまな視点で考えさせたり、発表させたりするようにする。	<思考・判断・表現> ・工場明太子をつくる人の仕事については分かるが、それ以外の人の仕事には着目できないでいる。 <指導の手だて> ・工場働く人の工夫を見学メモをもとに品質や安全の視点から考えることが十分にできない子どもには、教科書の三つの視点の中から一つずつ「これは工夫だ。」と思うものを教師と一緒に見つけるようにする。その際、教師は、その子どもが見つけたことを賞賛し、自信をもたせるような支援をする。
	安全でおいしい明太子をめざして	◎安全でおいしい明太子をつくるために、検査をする人や新しい製品を開発する人の仕事を調べるにより、安全でおいしい製品づくりに努力していることを考えることができる。	<思考・判断・表現> ・働く人の仕事から、その仕事と安全でおいしい明太子づくりとを関連づけて考えている。 <指導の手だて> ・安全でおいしい明太子づくりをめざして、つくる人以外にどんな人がどんなことに気をつけているのかに十分気づいている子どもには、「新製品開発」について、さまざまな視点から「どんな新製品がよいか。」を考えさせ、その仕事の必要性についても考えさせるようにする。	<思考・判断・表現> ・働く人の仕事から、その仕事と安全でおいしい明太子づくりとを関連づけて考えることができないでいる。 <指導の手だて> ・安全でおいしい明太子づくりをめざして、つくる人以外にどんな人がどんなことに気をつけているのかが見つけにくい子どもには、「ばい菌のこわさ」や「もし、〇〇だったら」など、お客さんの気もちになって考えさせ、安全な製品をつくりたいせつさを考えるようにする。
	原料のふるさを見つかけよう	◎明太子の原料がどこから運ばれてくるのか話し合い、明太子と他地域との結びつきについて、地図や地球儀を活用して調べることができる。	<観察・技能> ・明太子の原料について、品質のよいものを運ぶための工夫や他地域との結びつきを資料を活用して調べている。 <指導の手だて> ・明太子の原料がどこから運ばれてくるのか、地図が十分に活用できている子どもには、地球儀や世界地図を使い、教科書に掲載されている以外のスケッチウラやとうがらしがとれる場所など他地域とのつながりの視点で広く発展的に調べられるようにする。	<観察・技能> ・明太子の原料について、品質のよいものを運ぶための工夫や他地域との結びつきをどんな資料を使って調べればよいかとまどっている。 <指導の手だて> ・明太子の原料がどこから運ばれてくるのか、地図が十分に活用できない子どもには、教師と一緒に色を塗ったり、地球儀を使って日本の位置や外国の位置をおさえたりしながら、できるだけ実感をともなって仕入れ先の国や位置が分かるようにする。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	明太子がお客さんのもとへ運ばれるまで	◎明太子の出荷について調べ、お客さんのもとへ新鮮なまま運ぶ工夫をしていることや他地域と結びついていることをとらえることができる。	<知識・理解> ・明太子の出荷について調べ、新鮮なまま運ぶための工夫や、国内の他地域や世界各地との結びつきをとらえている。 <指導の手だて> ・わたしたちのくらしは明太子の原料を通して、日本各地や世界各地とつながっており、新鮮なまま運ぶ工夫をしていることを十分理解している子どもには、賞味期限などについても考えさせるようにする。	<知識・理解> ・明太子が製品として、国内の他地域や世界各地とつながっていることは分かるが、新鮮なまま運ぶための工夫については、とらえていない。 <指導の手だて> ・わたしたちのくらしは明太子の原料を通して、日本各地や世界各地とつながっており、新鮮なまま運ぶ工夫をしていることの理解が不十分な子どもには、冷蔵トラックでないとどうなるのかなど、具体的に考える場面を設定するようにする。
	たしかめよう	◎今まで学習してきたことをパンフレットにまとめ、話し合うことにより、工場とわたしたちのくらしについての自分の考えを深めることができる。	<思考・判断・表現> ・これまでに学習したことをパンフレットにまとめ、工場の人々と、わたしたちのくらしについて話し合い、自分の考えを深めている。 <指導の手だて> ・わたしたちの市の工場では、他地域ともかかわりながら、さまざまな仕事の工夫によって特色ある製品がつくられていることを十分に理解している子どもには、市の工場でつくられるほかの製品についても調べてみることを促してみる。	<思考・判断・表現> ・パンフレットに書く内容を探すことができず、つくり方についても自身もてずにいる。 <指導の手だて> ・わたしたちの市の工場では、他地域ともかかわりながら、さまざまな仕事の工夫によって特色ある製品がつくられていることを十分に理解できていない子どもには、これまでの学習を振り返り、どのようなことをパンフレットに表したらいいのか一緒に考える。

3 今にのこる昔とくらしのうつりかわり

1 昔の道具と人びとのくらし

小単元の目標	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
<p>○現在も残っているくらしに使われた道具や、それらを使っていたころのくらしの様子を調べ、地域の人々の生活の今昔の違いや変化、過去の生活における人々の生活の知恵や願いを理解できるようにする。</p> <p>○現在も残っているくらしに使われた道具や、それらを使っていたころのくらしの様子に関心を持ち、それを意欲的に調べることを通して、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。</p> <p>○現在も残っているくらしに使われた道具や、それらを使っていたころのくらしの様子を意欲的に調べ、過去の生活における人々の知恵や工夫、地域の人々の生活の変化や人々の願いを具体的に考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。</p>	大単元の導入	◎写真を見て、昔からある道具や地域に残っている行事や文化財について関心を持ち、本単元の学習の見通しをもつことができる。	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> 昔のくらしの様子や道具、地域に残っている行事や文化財の写真を見て、気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、それについて調べていく意欲を高めている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 昔の道具やくらしの様子、祭りを調べようと意欲的な子どもには、食事の写真にある道具以外で知っている昔の道具や、まちに伝わる祭りや行事を出させるように助言し、より興味・関心が高めるように指導したい。 	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> 昔のくらしを示す写真を見て、昔の道具やくらし、行事に対して関心をもてないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 昔の道具やくらしの様子、祭りに対して関心の低い子どもには、食事の写真から、人や道具に着目して、ノートに書き出してみるように助言したり、鯨船祭りの2枚の写真で子どもが比較的に見つけにくい、変化のない部分を見つけさせたりして、興味・関心が高まるようにするとともに、調べ活動ができるように個別に指導・支援する。
	昔と今の台所のようす	◎昔と今の台所の絵を比べ、様子や使われている道具の変化に着目し、昔の道具について自分で調べたり、実際に使ったりしようという意欲を高めることができる。	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> 昔と今の台所の絵を比べ、様子や使われている道具の変化に着目し、昔の道具について自分で調べたり、実際に使ったりしようという意欲を高めることができる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 昔の道具やくらしについて意欲的に調べようとする子どもには、「昔のくらしが分かるものにはどんなものがあるだろうか。」と投げかけ、具体的な道具などを考えるようにする。例えば、火鉢、七輪、釜、古い家の様子などである。それを詳しく調べるように指導したい。 	<p><関心・意欲・態度></p> <ul style="list-style-type: none"> 2枚の絵の変化については、分かるが、昔の道具やくらしに対して関心が低い。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 昔の道具やくらしに対して関心の低い子どもには、昔の道具を実際に触れさせたり、じっくり見させたりして、興味・関心をもてるようにするとともに、調べる活動ができるように個別に指導・支援する。
	<p>〔関心・意欲・態度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の人々の生活の移り変わりに関心を持ち、意欲的に調べることを通して地域社会のよりよい発展を考えようとしている。 <p>〔思考・判断・表現〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の人々の生活の移り変わりについて学習問題や予想、学習計画を考え表現し、人々の生活の変化や過去の生活における人々の知恵を考え、調べたことや考えたことを適切に表現している。 <p>〔観察・技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 古くから残るくらしにかかわる道具の使い方やそれらを使っていたころのくらしの様子を、博物館や郷土資料館などを見学したり、地域の高齢者や父母から聞き取り調査をしたりして具体的に調べている。調べたことを時間の経過にそって年表などに整理し、今昔の違いや移り変わりの様子をノートや作品に分かりやすくまとめている。 <p>〔知識・理解〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者・父母が子どものころから現在を比べ、人々の生活の変化や過去の生活における人々の知恵や願いをとらえている。 	昔の道具を使ってみよう	◎七輪の使い方について話し合ったり、実際に火をおこしたりする活動を通して、火をおこすためにこつが分かることが分かり、当時のくらしの様子をとらえることができる。	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> 七輪の使い方を話し合ったり、実際に火をおこしたりする活動を通して、火をおこすこつが分かり、当時のくらしの様子をとらえている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 七輪の使い方や火のおこし方について意欲的に取り組み、当時の調理の仕方に興味・関心をもった子どもには、ほかの調理に関する道具（かまどや釜、火吹き竹など）についても調べるよう助言する。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	調べたいことを出し合うと	◎昔の道具を調べる方法や調べたことをまとめる方法について、見通しをもって計画を立てることができる。	<思考・判断・表現> ・昔の道具を調べる方法やまとめる方法について、見通しをもって計画を立てることができる。 <指導の手だて> ・調べる方法やまとめる方法を十分考えられている子どもには、聞き取る内容について自分なりに考えさせておく。調べる方法も複数考えさせておくとよい。	<思考・判断・表現> ・昔の道具を調べる方法、まとめる方法が分からない。 <指導の手だて> ・昔の道具を調べる方法やまとめる方法が分からない子どもへは、さまざまな昔の道具の実物や写真を見せながら、「これは何に使っていたと思う?」、「これはどうやって使うのだろう?」などと働きかけ、まず興味をもたせるようにする。そして「昔のことだから誰に聞いたらいいか。」と考えさせ、身近に聞ける人がいないかを考えさせる。
	せんたくの道具を調べる	◎祖父母や父母の世代が子どものころや今の洗濯の道具について、調べたことを工夫して絵年表などにまとめることができる。	<観察・技能> ・三世代の洗濯の道具の移り変わりを調べ、調べたことを絵年表などに表している。 <指導の手だて> ・洗濯の道具やくらしの変化がよく理解できている子どもには、発表の際に何を伝えたいのか事前に原稿を書かせることよい。また、関心のあるほかの道具についても同様の絵年表を作成させてみるのもよい。	<観察・技能> ・洗濯をする活動にあまり関心がもてず、道具やくらしの変化を分かりにくく、カードに表すことができない。 <指導の手だて> ・道具やくらしの変化が分かりにくい子どもには、道具調べカードを年代順に並べさせ、それぞれの道具の便利だった点や、そのころのくらしの様子について個別に聞いていくことが必要となる。
	ごはんをたく道具を調べる	◎炊事の道具について調べたことを表にまとめたり、話し合ったりするなかで、道具や人々のくらしの様子に見られる人々の知恵や工夫、努力をとらえることができる。	<知識・理解> ・三世代の炊事の道具の移り変わりについて調べるなかで、道具や人々のくらしが移り変わってきたことをとらえている。 <指導の手だて> ・道具やくらしの様子に見られる知恵や工夫に気づいている子どもには、その知恵や工夫が現在のどこにいきているかを考えるように助言する。	<知識・理解> ・三世代の炊事の道具の移り変わりやこれまでに調べたことから、道具や人々のくらしが移り変わってきたことをとらえられないでいる。 <指導の手だて> ・昔の人々の知恵や工夫に気づかない子どもには、疑似体験をさせたり、実物に触らせたりして、体感させていくことをたいせつにしたい。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	子どものころのくらしを聞く	◎祖父母や父母の子どものころのくらしについて話を聞くことで、人々の生活がどのように変わってきたのかを考えることができる。	<思考・判断・表現> ・祖父母や父母の子どものころのくらしについて話を聞き、世代が進むにつれ、道具が便利になるとともに、くらしの様子が変化していることに気づいている。 <指導の手だて> ・世代が進むにつれて道具が便利になるとともに、くらしの様子が変わってきていることをとらえた子どもには、遊びや食品などテーマを決めて移り変わりについてくわしく調べさせたり、P.130～131を参考に外国の道具やくらしの様子を調べさせたりしたい。	<思考・判断・表現> ・祖父母や父母の話の内容を十分に把握できず、人々の生活の変化や、当時の人々の願いに気づくことができない。 <指導の手だて> ・友だちの発言の内容を十分に把握できない子どもには、写真を見せたり、遊びや道具を体験させたりしながら、当時のくらしの様子を実感できるようにする。そして、ノートに整理してまとめることができるように個別に指導・支援したい。
	たしかめよう	◎祖父母や父母の子どものころと現在までの道具やくらしの様子について調べたことを年表にまとめ、話し合うことにより、人々のくらしの変化についての自分の考えを深めることができる。	<思考・判断・表現> ・これまで調べたことや、道具調べカードを使って、学級全体で大きな年表をつくり、道具やくらしがどのように変わってきたか、また、ずっと変わらなかったものは何かについて話し合い、自分の考えを深めている。 <指導の手だて> ・道具調べカードや年表の作成を通して道具やくらしの様子の変化を適切にとらえている子どもには、年表にのせた道具の使い方やどんなところが便利になったのかを考えたり、今のくらしと比べて、昔のくらしのよさを見直したりさせたい。	<思考・判断・表現> ・道具やくらしの様子の変化が分かりにくく、カードがつかれないために、年表づくりに取り組みにくい。 <指導の手だて> ・道具やくらしの様子の変化が分かりにくく、年表づくりに取り組みにくい子どもには、道具調べカードを時代別に並べたり、時代にあったカード並べをさせたり、ゲーム感覚で取り組ませるとよい。

2昔から伝わる行事

小単元の目標	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
<p>○地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事を取り上げ、それらの内容やいわれ、地域の人々がそれらをたいせつに保存し継承するための取り組みなどを調べ、そこには、生活の安定と向上に対する地域の人々の願いや保存・継承するための工夫や努力があることを理解できるようにする。</p> <p>○地域に伝わる文化財や年中行事を調べる学習を通して、自分たちも地域の伝統や文化を受け継いでいく一人であるという意識を養い、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。</p> <p>○地域の人々が受け継いできた文化財などを見学、調査したり、文化財や年中行事の保存・継承に携わる人からの聞き取りをしたりして、人々の保存・継承するための工夫や努力を具体的に考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。</p>	<p>まちにつたわるまつり</p>	<p>◎まちでおこなわれている祭りや行事について、参加経験などをもとに話し合うことで、興味・関心をもち、調べる内容を明確にして、調べる計画を立てることができる。</p>	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちが住むまちに昔から伝わる祭りや行事について、興味・関心が高く、問題意識をもって意欲的に調べようとしている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちが住むまちの祭りや行事について、調べる計画が立てることができた子どもには、ほかの祭りや行事にも目を向けさせ、意欲をもって調べようになりたい。 	<p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちのまちでおこなわれている祭りや行事について知ってはいるが、学習対象として調べてみようという意欲をもてないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちが住むまちの祭りや行事に関心が低い子どもには、祭りに使う法被などの実物を見せて、「祭りでこれを実際に着ているのを見たことはありませんか。」といった問いかけをおこない、興味や関心をもたせるとともに、まずは問題意識をもてるように個別に指導・支援をする。
<p>小単元の評価規準</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昔から地域に伝えられている祭りなどの行事に関心をもち、意欲的に調べ、考えながら追究している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昔から地域に伝えられている祭りなどについて学習問題や予想、学習計画を考え表現し、文化財や年中行事にこめられた地域の人々の願いを考え、調べたことや考えたことを適切に表現している。 <p>【観察・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域に残る文化財や年中行事を見学、調査したり、それらの保存に携わる人から聞き取りをしたりして具体的に調べ、調べた過程や結果を発表したり、ノートや作品に分かりやすくまとめたりしている。 <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域に残る文化財や年中行事の内容やいわれ、地域の人々に受け継がれている様子などをとらえている。 	<p>祭り調べ</p>	<p>◎地域に昔から伝わる祭りや行事について調べたことを、カードや写真、資料などを活用して伝えたいことをまとめ、発表することができる。</p>	<p><観察・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 祭りや行事について調べたことを自分なりに工夫して表現物にまとめている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 調べたことをうまく活用し、自分のアイデアや考えなどを進んで表し、表現活動を工夫している子どもに対しては、発表に対する質問をあらかじめ予測して、答えを用意しておくことをすすめたり、質問を考えることで、発表の内容や方法を改良することにも目を向けさせたりして、より分かりやすい発表になるようにしたい。 	<p><観察・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 祭りや行事について調べているが、表現物にまとめることができないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 発表することが決まらない子どもには、一番伝えたいと思われることをあらかじめ列挙しておき、子どもに選択できるようにしておく。また、グループの中で準備をするときには、その子の得意なことを生かせるように配慮し、意欲が持続するように個別に指導・支援する。
	<p>ほぞん会の人に話を聞こう</p>	<p>◎祭りの話を聞いたり、教えてもらったりすることを通して、鯨船祭りがいつごろはじまったのかなどの由来や地域の人々に受け継がれている様子などをとらえることができる。</p>	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> 保存会の人のお話や祭りの体験活動に積極的に取り組むことで、祭りの由来や地域の人々に受け継がれている様子などをとらえている。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 祭りに興味があり、理解が深い子どもには、休日の練習や準備、祭り当日の取材活動に取り組みせるとよい。その際には、デジタルカメラやビデオカメラを使って取材させると、子どもの観点でとらえた祭りの様子が期待できる。 	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> 祭りには興味があるが、地域の人々に受け継がれている様子などをとらえることができないでいる。 <p><指導の手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> 昔から伝えられている祭りについて理解が低い子どもには、祭りにかかわる人たちとできるだけ触れ合う活動を取り入れていきたい。そのなかで、祭りに興味や関心を高め、「なぜ、祭りをするようになったのか。」などと、具体的に考えられるように助言する。

	小見出し	学習のねらい	評価基準と指導の手だて	
			十分満足できる子ども	努力を要する子ども
	祭りをささえる人びと	◎保存会の人の話や自分で調べたことをもとに、生活の安定と向上に対する地域の人々の願いや、保存・継承するための工夫や努力を考えることができる。	<思考・判断・表現> ・保存会の人の話から、祭りや行事に込められている地域の人々の思いや願いを考えている。 <指導の手だて> ・保存会の人の話から鯨船祭りが地域の人々の努力があって続いていることを関連づけて考えられる子どもには、まちにあるほかの祭りや行事にも地域の人々の願いがあり、それらをたいせつに伝えるための努力があるからこそ、祭りや行事が続いていることに気づかせるようにしたい。	<思考・判断・表現> ・祭りや行事に興味はあるが、人々の思いや願いまでには考えがいたっていない。 <指導の手だて> ・保存会の人の話から鯨船祭りが地域の人々の努力があって続いていることを関連づけて考えられない子どもには、子鯨を20年ほど前に保存会の人たちが新しくつくったことや小学生が少なくなってきたことなどを例にして、地域の人々の努力に気づくように個別に指導、支援をする。
	市につたわるいろいろな祭り	◎市に伝わる祭りや行事の内容、いわれ、受け継がれている様子を調べ、どの祭りもまちの人の願いが込められていることをとらえることができる。	<知識・理解> ・市内にあるいろいろな祭りや行事の内容やいわれ、人々の思いや願いとそれらが受け継がれている様子をとらえている。 <指導の手だて> ・ほかの地域に伝わる祭りや行事について意欲をもって調べ、その内容やいわれをとらえることができた子どもには、祭りの対象を広げ、同じような祭りがあるところを調べたり、日本各地や教科書P.144の外国でおこなわれている祭りを調べたりするように指導したい。	<知識・理解> ・他地域の祭りにも、そこに住む人々の思いや願いがあることに気づかないでいる。 <指導の手だて> ・ほかの地域に伝わる祭りや行事を調べることに興味のない子どもには、いろいろな祭りの写真を見せて、興味をもった祭りを調べるようにする。調べる方法や資料のまとめ方などを指導し、意欲が続くように配慮する。
	たしかめよう	◎これまでに学習したことを紙芝居にまとめ、話し合うことにより、地域に伝わる祭りや行事についての自分の考えを深めることができる。	<思考・判断・表現> ・くじら船まつりについて調べたことを、紙芝居にまとめ、これからも祭りを続けていくためには、何が大切なのかについて、自分の考えを深めている。 <指導の手だて> ・地域に伝わる祭りや行事について、祭りに込められた人々の願いを意識しながら、工夫して表現している子どもには、その祭りに対する自分の思いや、これからも受け継いでいくためにたいせつなことを考えて発表できるように指導する。	<思考・判断・表現> ・地域に伝わる祭りや行事について、何をかいたらいいのか考えにくい。 <指導の手だて> ・地域に伝わる祭りや行事について何をかくか考えにくい子どもには、聞き取りメモやノートをもとに、祭りのいわれや内容、保存会の人の願いなどの項目に分けてまとめ、それらを紙芝居に表現していくことを指導する。